



〈中国ろうきん〉統合20周年

社会的責任と貢献活動の軌跡

〈中国ろうきん〉では、「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めたろうきんの理念を実現するため、地域や社会に向けて幅広い貢献活動を展開しています。統合から20年間の主な活動を5つのキーワードで振り返ります。

history

- 2003年10月 「中国労働金庫」誕生
- 2004年 2月 確定申告書作成説明会(現セミナー)開始
- 9月 高校生のための消費者講座開催
- 2005年 2月 NPO立上げ助成制度募集開始
- 10月 中国ろうきんNPO寄付システム開始
- 「ろうきん森の学校(広島地区)」開校
- 2006年 2月 災害救援ローン制度新設
- 6月 「助け合い制度」開始
- 7月 ろうきん育児支援ローンの取扱い開始
- 2007年 5月 「生活応援運動・多重債務対策本部」設置
- 2008年12月 就職安定資金融資制度取扱い開始
- 2010年 3月 エコアクション21の認証取得
- 2011年 8月 ポイント景品交換制度に「東日本大震災遭児支援コース」新設
- 12月 情報誌「R·ism」創刊
- 2012年 4月 「〈ろうきん〉をご利用いただくことで、社会に貢献できるしくみ」開始
- 2013年10月 中国ろうきん創立10周年
- 2015年 3月 本店ビルの新築移転
- 建築環境総合性能評価(CASBEE)の最高グレードS認証取得
- 2016年 4月 世帯向けサービス「しあわせの櫻(たすき)」の取扱い開始
- 2020年 4月 「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受け、「くるみんマーク」を取得
- 11月 「女性活躍に基づく認定マーク(えるぼし)」(3段階中2段階目)を取得
- 2022年 4月 ピンクリボン運動(公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」)への寄付開始
- 2023年 3月 「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定



NPO

●中国ろうきんNPO寄付システム

〈ろうきん〉は、日本でただ1つの非営利の福祉金融機関として、NPOを支えることが、働く人とその家族、そして誰もが安心して暮らせる地域社会づくりにつながると考え、この寄付システムを提供しています。
(6P参照)



NPO寄付システムの申込書が新しくなりました。

助け合い



●助け合い制度

〈ろうきん〉の原点である「助け合いの精神」に基づき、会員およびそのご家族の生活を守るとともに、よりよい地域社会づくりに貢献するために取組んでいます。

〈具体的な施策〉

- ①リトライ融資制度
- ②安心パック保証制度
- ③育児休業・介護休業期間中の元金据置制度
- ④多重債務の整理
- ⑤福祉ローン
- ⑥災害救援ローン
- ⑦生活支援策

商品・制度の紹介

- 生活・雇用応援ローン
- 求職者支援資金融資制度
- 技能者育成資金融資制度
- 勤労者生活支援特別融資制度
- 生活支援緊急ローン

次世代

●高校生のための消費者講座

中国4県の労働者福祉協議会および広島県労働会館が主催する「高校生のための消費者講座」へ職員を講師として派遣しています。これから社会に出る高校生が「自立した賢い消費者」になれるよう支援します。(11P参照)



金融

●多重債務問題への取組み

多重債務に陥ってしまった場合の対処方法のアドバイスを行い、相談者の生活再建に向けた活動を実施しています。また、会員や職場からの要請に基づき、会員・企業向けのセミナーに講師を派遣し、実践的な講義を行っています。



●確定申告書作成セミナー

中国税理士会の協力のもと、退職者や中国ろうきん友の会会員のみなさま、公的年金受給者を対象とし、毎年セミナーを開催しています。(11P参照)



環境

●ろうきん森の学校(広島地区)

労働金庫連合会の設立50周年の社会貢献事業として開校。「森を育む」「森で遊ぶ」「人を育む」を3つの柱として活動しています。毎年秋に「ろうきん森の学校フェスティバル」を開催中!(7-8P参照)

